

「知の拠点あいち重点研究プロジェクトⅣ期」最終評価結果

1 総評

＜全般的な評価＞

- 知の拠点あいち重点研究プロジェクトⅣ期の最終評価結果は、3 プロジェクト 27 研究テーマのうち、S 評価区分が 9 研究テーマ、A 評価区分が 18 研究テーマであり、研究開発は順調に進捗し、成果創出が図られた。

＜評価項目ごとの見解＞

- 「全体計画書に示された研究進捗と目標達成状況」については、目標としていた技術の確立段階以上には、開発ターゲット全体の 61%が到達し、生産準備・製品化に至ったものが 10 件に達するなど、概ね所定の目的を達成できた。
- 「参画企業による事業化の見通し」については、地域中小サプライヤーの生産性向上につながったり、難課題に対して本質的なアプローチをしたことによる基盤技術を実現したり、現場の声を最大限に重視することによりプロジェクトを推進して難課題をクリアしたりするものがあつた。今後はさらに産業への成果波及を進めることが求められる。
- 「県産業への貢献度、人材育成等」については、ノウハウの共有化やスタートアップ企業による事業化は行われているが、講習会等を通じた人材育成や技術成果の横展開が期待されている。

＜今後の研究開発、社会実装への期待＞

- 最終評価結果を受け止めつつ、各テーマのビジネスプラン達成に向けて、関係機関が連携した研究開発を促進することが求められる。
- そのため、これまでの研究開発により創出された解析技術の産業界での活用事例を増やし、開発技術を活用する具体的な製品や機能解明につなげることや、展示会に積極的に出展して情報発信を加速することで、活用事例を増やすことによって、着実に事業化を目指し、本県発のイノベーション創出を図っていただくことを期待する。

2 研究テーマごとの最終評価結果

別紙のとおり。